

第2次五泉市 総合計画

後期基本計画 2022▶2026

ずっと五泉。

～次の一步を、ともに未来へ～



五泉市

第2次五泉市総合計画 後期基本計画の策定について



本市は、平成29年度にまちづくりの指針となる第2次五泉市総合計画を策定し、活力あるまちづくりを行うとともにさらなる発展と飛躍を目指し、令和3年度の5年間を前期基本計画として、様々な施策に取り組んでまいりました。第2次五泉市総合計画では、まちづくりの目標となる将来像を「ずっと五泉。～次の一步を、ともに未来へ～」とし、市民の皆様が夢と希望を持ち、豊かさを感じながら、ずっと五泉市で暮らすことができるようにとの思いが込められました。

しかしながら、この間、人口減少は加速度的にその勢いを増し、特に村松地域における人口減少は顕著で、令和3年4月に「一部過疎地域」の指定を受けたところであり、人口減少対策はまったなしの状況であります。

令和2年初頭から日本はもとより全世界で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響により、社会や市民の皆様への行動、価値観を大きく変えました。ウィズコロナの時代に、特に大都市では「働き方改革」が推進され、東京一極集中から「地方への回帰」という流れが生まれ、地方においてはリモートワークやサテライトオフィスへの取組みにより、人口拡大を図る好機となりました。また令和3年9月に「デジタル庁」が設置され、ICTやAIなどデジタル技術を使った「新たな日常」の構築に向けた取組みが急速に広がり始めており、自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）の推進による市民サービスの向上や業務の効率化が求められております。また、世間ではほぼ定着しつつあります国連が定める、SDGs（Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標）は、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標であり、本市においても市民の皆様への理解を得ながら取組みを図る必要があります。

本市は、令和3年10月にオープンしました「ラポルテ五泉」を「交流と観光の拠点」として、他の地域に負けない五泉・村松の観光資源、伝統文化、五泉ブランド品、自然の中あるいは産業を通してのコト体験など「五泉市の良さ」を存分にPRし、人を呼び込む五泉市に取り組んでまいります。さらに、観光客はもとより、交流人口、関係人口の拡大を図りながら、定住人口の増加につなげていき、訪れてよし、住んでよしの新潟県ナンバーワンの五泉市を目指します。

人を呼び込む施策を推進する一方で、本市を将来に渡り持続可能なまちとして存続させていくためには、人口減少等による厳しい財政状況が予想されることから、行財政改革をさらに強化し、歳出削減と新たな財源確保の取組みを推進しなければいけないことから、市民の皆様からの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりご協力を賜りました五泉市総合計画審議会委員、五泉市総合計画市民まちづくり会議委員の皆様をはじめ、市民意識調査などを通して貴重なご意見、ご提言を賜りました市民の皆様、市議会議員並びに関係者の皆様へ心よりお礼申し上げます。

令和4年3月

五泉市長 田邊正幸